

2011年度 第95回 PGC 全国代表者会議 1日目 議事録

日時 平成24年2月13日(月) 13:00~18:00

場所 Guest House Ange ゲストハウス アンジュ

1、開会 秋葉副議長

2、議長挨拶 岡村議長

3、1) 出席者(密岡事務局)

エリア代表 山口敏夫(北海道) 守谷敏彦(東北) 小泉賀敬(関東)

市川裕介(東海) 阿那守男(関西) 種田宏幸(中国)

小崎修平(九州) 糸数憲一郎(沖縄)

三役 岡村匡(議長) 小貫久史(直前議長) 長谷川正之(副議長)

秋葉亮介(副議長) 林義明(副議長) 吉田和正(どっこいしょ室室長)

原一友(運営専務) 岸本茂樹(会計総務) 吉田弦矢(web 広報)

委員長 河田年弘(創造委員会) 林陽平(しあわせ委員会)

真安健一(COOL STUDIO PROJECT) 坂本隆之(ココロヲキタエル)

上山毅(テクニカルプロジェクト) 内山尚亮(どっこいしょ室)

佐藤泰博(直々前議長) 青木宏(前運営専務)

神谷広(沖縄カンファレンス実行委員長) 密岡貴之(事務局)

欠席者 田島俊明(どっこいしょ室) 佐々木憲生(全国事務局)

2) 資料確認

小崎、山口、阿那、一万人の写真展、沖縄カンファレンスの資料を追加

4、来賓及びオブザーバー参加者紹介

沖縄カンファレンス実行委員長神谷広

5、議事録作成人及び署名人の指名

(関東エリア吉川真吾 沖縄エリア代表糸数憲一郎 九州エリア代表小崎修平)

6、持ち越し審議事項

1) 平成23年度事業報告(小貫直前議長)

内容は資料3、4P参照

『昼間のパパプロジェクト』の収支は6P参照

また、本が無事に出版されたことと、内容に評価をいただいていることを報告

2) 平成23年度会計報告（青木前運営専務）

平成23年度PGC全国会計決算書（案）は7ページ参照

『昼間のパパプロジェクト』と震災義援金に関しては2011年6月の全代会にて報告済み

3) 監査報告（佐藤直々前議長）

間違いがない事を報告

4) 補足（坂本）

- ・ 広告協賛金は出版後にいただくので、通帳上では来期に金額が一致
- ・ 交通費の工夫により、繰越金が増額
- ・ サーバー管理費は来年の2月まで（来年分）まで支払ったので、決算上超過以上を報告

5) 審議

挙手にて 全会一致 承認

7、新議題採択（岡村議長）

沖縄カンファレンス、東北カンファレンスの次に東海にてカンファレンスを行う事を6月に審議する

8、審議事項

1) PGC 基金（長谷川副議長）

資料83～85P参照

- ・ 災害等緊急用のお金と義援金の中から100万円を基金として残す
- ・ 基金管理委員会（全代会の議長、副議長、会計、議長から指名を受ける全国代表者の中の1人）を毎年発足
- ・ 年1回会議を行う（利息の使い方などを審議するため）
- ・ 1年間に3分の2までは、緊急時すぐに使える
- ・ 残す金額と上限は、当該年度の基金管理委員会で決める
- ・ エリアで事件、事故が起こったときなど、有事の際にも使える
- ・ 基金を使用する場合は、委員会で会議を行ったあと、全代会に報告

審議

挙手にて 全会一致 承認

2) 平成24年会計予算案（岸本会計総務）

資料4 1 P 参照

- ・エリア分担金の会員数に変更あり
- ・東北エリアが昨年度、3人分多く支払ったため、今年度で相殺
- ・委員会活動補助の金額の変更
- ・各委員会への活動費に余りが出た場合は戻し入れ
- ・5、6月の時点での各委員会の使ったお金、12月までの活動予定を全代会で判断して、足りない分は委員会活動予備費より支出
- ・各委員会より、決算書を出す事にする

質疑応答（応答は岸本会計総務）

真安) 委員会活動費補助に交通費は含まれるか？

→含まれる

岸本) 委員会活動予備費は早い者勝ちか？

→早い者勝ちではない。6月の全代会のときに、今後の活動予定を聞いて公平に分ける

林陽平) エリアで呼ばれると補助が出やすく、委員会個人の活動は補助が出にくいのか？

→そのようなことはない。委員会の活動目的に合ったものに使ってもらいたい

林陽平) エリアに呼ばれる委員会と、呼ばれない委員会の采配は

→呼ばれなくて予算が余ったら、戻してください。そして、エリアに呼ばれるようなセミナーを考えてください

補足

岡村議長)

- ・委員長（委員会）に一番いい方法でお金を使ってもらうが、委員会ごとで（交通費などの）参加者の不公平がでないようにしてもらいたい
- ・エリアと委員会がうまく絡んでよい活動をしてもらいたい

吉田和正)

- ・委員会での予算の使い道を、よりクリアなものにってもらいたい

審議

挙手にて 全会一致 承認

青木前運営専務、佐藤直々前議長退室のため、挨拶

青木前運営専務)

お疲れさまです。まだ、スムーズに会議が進まないと思いますが、全代会は全国の PGC メンバーのお金を執行する大事な会議です。エリアの代表の方は、全代会もエリアの運営も重要です。全国の役員とエリアの役員は馴れ合いではなく、良い緊張感を持ってやっていってほしい。皆さん、2年間がんばってください。

佐藤直々前議長)

ありがとうございました。2000年に全代会に参加させていただいて、足掛け12年。PGCは全代会で決定していく。徹底的に目的を議論してほしい。そのあとに、目標を定めていってほしい。

あと、PGCは時流独創。今までにない時流を創りあげてほしい。そして、人を育ててほしい。人間は不完全。良い部分半分、悪い部分も半分。短所ではなく、相手の長所を見つけて、一緒に伸ばしてあげてほしい。

本当に、ありがとうございました。

9、報告事項

1) 正副議長会議 (岡村議長)

- ・ 2011年12月7、8日にて、沖縄カンファレンスの状況確認と予算案の確認
- ・ 2012年2月5日、スカイプにて全代会の準備

2) エリア報告

〈北海道代表 山口敏夫〉

資料42～46P参照

テーマ『Dream Come True! (夢を叶える)』

自分の夢を、今の立場、写真館として叶えて行く。スタッフ、家族、自分がリンクして夢を叶えるようにしていく。

〈東北代表 守谷敏彦〉

資料47～50P参照

テーマ『Love in Action』

震災もあったが前向きに、情熱を持って進めて行きたい。集まれる喜び、絆を持って活したい。

〈関東代表 小泉賀敬〉

資料51～57P参照

テーマ『共創』

一番のキーワードはコミュニケーション。次世代の写真館経営者を育てるために、若者たちのために何ができるか考えて活動していく。絆展に写真学校の学生を巻き込んだり、家族、スタッフも入れる家族会なども考えている。

〈東海代表 市川裕之〉

資料58～60P参照

テーマ『すべては歓声のために・・・』

フェイスブック等、いろいろと情報を入手できる世の中で、PGCだからこそできることを考えたい。そして、責任感なくして達成感を味わえないので、全メンバーに役職をあたえるようにする。

〈関西代表 阿那守男〉

資料61～65P参照

テーマ『つながり』

地域、業者、人と人とのつながりがあって、仕事ができる。そして、そのつながりから生きた情報が手に入ると思う。この『つながり』が2年間のテーマ。

〈中国代表 種田宏幸〉

資料66～68P参照

テーマ『共に創る』

歴代の代表の活動を手本に、もっともっとPGC活動を盛り上げていきたい。あと、出席率をあげていき、若手を育てて行く形にしていきたい。

〈九州代表 小崎修平〉

追加資料参照

テーマ『熱くなれ！～知逢和世（しあわせ）になろうよ！～』

全員が運営委員のようにし、自分のやりたい事を相談して、みんなに広げていく。

また、人材バンクのようなネットワークを作りたい。

自分がつぶれるか、PGCが活性化するかどちらか。

〈沖縄代表 糸数憲一郎〉

資料69～71P参照

テーマ『やさしさ』

植林という考え。1、2年という単位ではなく、10年20年のスパンを考えて活動していきたい。

岡村議長)

ありがとうございます。各エリアの活動がベースになっています。

PGC のいいところは、みんな前しか向いていないところ。

今、40代の僕たちが20代30代、次の世代を育てていると思う。僕らのがんばっている姿を、会員みんなに伝わるようにしていきたい

3) 委員会報告

〈COOL STUDIO PROJECT 委員長 真安健一〉

資料74～75P 参照

- ・ギンザフォトスタジオの青野祠瑠さんを追加招集
- ・Facebook を使ったの、一般の方々への情報発信
- ・来年度の絆展で、何か配布物を用意したい

COOL STUDIO PROJECT 担当副議長 長谷川正之)

真安委員長について行きたいと思います。

どのように外部に発信するかが使命だと思っている。自分たちの勉強もそうだが、(写真の) 業界外の人たちにどうアピールするのか考えたい。どんどん、各エリアから声をかけていただきたいです。

〈テクニカルプロジェクト委員会委員長 上山 毅〉

資料82P 参照

- ・全国バトルロワイヤル
全国8エリアより予選大会を行い、その代表者が来年度のカンファレンス時に決勝大会を行う→自店の魅力を再発見してもらうことが目的
- ・1月25、26日にテクニカルメンバーによる5名によるセミナー発表会を行った
→発表メンバーを、研究大会等のセミナー講師として派遣を企画中
- ・参加型の短期合宿を企画中
- ・沖縄と関西の追加メンバーを希望

〈ココロヲキタエル委員会委員長 坂本隆之〉

資料77～78P 参照

PGC 入会2、3年のメンバーが中心で、未来のリーダーを育てる事が目的

九州代表 小崎) 追加で出向させる事は可能ですか？

岡村議長) 可能です。

ココロヲキタエル、テクニカルプロジェクト委員秋担当副議長 秋葉亮介)

二人ともスキルもポテンシャルも十分なので、お任せしている。

バトルロワイヤルは、会員すべての店に自社の魅力を再発見して、発表する場があるというのがすばらしいです。

ココロヲキタエルは、PGC の基本の話からいろいろな勉強ができ、そして、次世代のリーダーを作る、育てるという岡村議長の想いをカタチにしたような委員会だと思います。思う存分、二人に頑張っていたきたいです。

〈創造委員会委員長 河田年弘〉

資料 79P 参照

店の出店、リニューアル、するのに、何をすればいいのか？実際に店を出したお店に委員会メンバーが聞きに行き、研究大会等で発表、全国に発信して行く。現状は、資料集め、取材中。

〈しあわせ委員会委員長 林陽平〉

資料 76P 参照

従業員満足、顧客満足、自分満足、家族の満足など身近な人との幸せな人間関係を築く。その他に、即戦力で使えるモノ（情報、技術）を DVD にして販売。

創造、しあわせ委員会担当副議長 林義明)

創造委員会は、端的に言うとお店のビフォーアフター。しあわせ委員会は、すでに昨年の12月に1回目の会議を行っており、これからどんどんアイデアが出て来ると思います。2つの委員会は、内部発信的なものだと思っているので、みなさん、よろしくをお願いします。

岡村議長)

ありがとうございます。

視点を変えてもいいと思います。写真館ではなく、写真の話をすると、もっと話が広がっていくと思います。もっと広いものの中から、いろいろなものを発見できればと思います。

4) 富士フィルム PHOTO IS 家族の絆展 (密岡事務局)

追加資料参照

- ・家族の絆展の会場、日程決定
- ・仙台の日程は、まだ未定

5) 功労バッチについて (原運営専務)

資料 29～40P 参照

- ・PGC 功労バッチ贈呈基準が平成 5 年 10 月にかわっている
- ・功労バッチのリストが見つかる
- ・エリア代表から推薦書を事務局に出していただいて、功労バッチと交換をする

質疑応答

岸本) 功労バッチを渡すタイミングがエリアごとで違うので、統一してはどうか?

→現状報告と意見

北海道代表 山口) 卒業するとき、また大きな役職が終わったときに渡す

東北 長谷川) 運営委員には渡している

代表、副代表、東北 3 役、全国出向している間は渡していない

関東代表 小泉) 点数が加算されている間は渡していない

個人的な意見で、ある程度役職を離れてから渡した方がよいのでは

東海代表 市川) ここ数年、話が出ていなくて把握していない

個人的な意見で、卒業時に渡すのが良いと思う

また、渡されない人の対応も考えた方がよい

関西代表 阿那) 現役を離れて (運営委員を終えて) から渡す

個人的には、卒業時に渡すのが良いよと思う

中国 真安) 役を終えてから渡す

全国で統一していただいて大丈夫

九州代表 小崎) 詳しく把握していない

ポイントがたまれば、渡してしまっている感じ

自己申告になってしまっている

もう少し違うカタチにリニューアルしてもどうだろうか?

沖縄代表 糸数) 正直、分からない

小貫直前議長)

自分たちが興味あるのではなく、功労バッチをもらえる人がもらえていない現状ある。がんばってくれた先輩への感謝の意味が功労バッチなので、全代会でカタチを作ればしっかり管理できるのではないかな。

岡村議長)

まず、功労バッチがあることを認識してもらいたい。個人的には現役でも渡してよいのではないかなと思う? まずは、代表者の人たちが点数の把握、管理をして、そのあと続

けるか廃止するか考える。また、今後話し合っていきたい。

→結論には達せず。

6) その他について

- ・2014年度カンファレンスへの東海エリアの立候補

東海代表 市川)

今、東海に積極的な風が吹いているので、更に活性化させるために立候補しました。

詳細については、今後、委員会を立ち上げて取り組んで行きたい

岡村議長)

まだ立候補があがるかもしれないので、審議はしない。

- ・フォトスタナビと愛メールのお願い

吉田弦矢 web 広報)

各エリアに1人ずつお手伝いの方がほしい

先輩より、若手が希望

岡村議長)

フォトスタナビと愛メールは随時更新して、各エリアの担当の方といいものを作ってもらおう

- ・どっこいしょ室から報告

内山) 2年で結果を残していきたい。

吉田和正) 部員が38人とどっと減った。若手を広げなければいけない。

写真館は減っているが新規の人は増えてきているので、その人たちに声をかけていって増やしていきたい。

- ・PGC 基金、基金管理委員会について

原運営専務)

この場で、基金管理委員会のエリア代表を議長に指名してもらい、本日全代会終了後に、第1回目の委員会を執り行います

岡村議長)

カンファレンスを担当するエリア代表に基金管理委員会に入ってください。

よって、今年度は糸数沖縄エリア代表をお願いします

岡村議長)

議事は以上で終了です。

この後は、沖縄カンファレンス、委員会の絡み、フリータイムと進めていきます。

10、フリーセッション

1) 沖縄カンファレンス進行状況（沖縄カンファレンス実行委員長 神谷広）

追加資料参考

日程 7月11日（水）～12日（木）

※ 名護市民会館が火曜休館日により、7月10～11日から変更

テーマ 響く！

会場 名護市民会館中ホール（定員300名）、名護中央公民館（定員50名）

懇親会 ゆがふいん おきなわ（市民会館より車で5分）

定員 200名（キャパの関係上、上限は250名）

- ・ 基調講演はなしで、荒木敬介氏（九州 PGC OB）のオープニングメッセージに変更
- ・ 沖縄 PGC 企画セミナー 岡垣吉典氏（中国 PGC）
- ・ 前夜祭的なもので、ビーチパーティーを企画

名護までの交通手段

那覇から路線バスで3時間。レンタカーを使用すれば2時間弱

要望があれば、バスもレンタルする

宿泊施設

ビジネスホテルが3、4件ほどある

車で15分ぐらいのところにリゾートホテルもある。

沖縄カンファレンス実行委員よりの要望

各委員会で、セミナー1枠を使って何かやっていただきたい。

→中央公民館が一番広い部屋の定員50名のため、名護市民会館中ホール（定員300人）でのセミナーとのバランスが悪い

カンファレンスのまでスケジュール（案）

3月19日までにセミナー詳細

3月21日パンフレット原稿締め切り

3月22日～30日からパンフレット作成

3月30日～4月15日パンフレット公正

4月16日パンフレット印刷

5月9～10日全代会 in 名護（会場下見）

5月11日 パンフレット発送
6月11日参加申し込み〆切
7月2日飲食関連発注〆切
7月10日ビーチパーティー
7月11日～12日カンファレンス

質疑応答（応答 神谷実行委員長）

小泉）同じ時間帯のセミナーを3枠にすることは可能ですか？

→可能です

真安）ネット環境は？

→（2月13日時点で）未確認

吉田和正、内山、林陽平）

外部講師、または沖縄ならではの人を呼べないか？

※岡垣氏が2年前の中国カンファレンスで講演しているため、インパクト不足、
集客に影響がでるか懸念

→決定している講師の変更は不可能

岸本）食事をする環境は？

→整っているが、車での移動が必須

真安）各委員会に割り当てられる予算はいくらか？

→現状では不明

（参考）中国カンファレンス 15～30万

関西カンファレンス 20～30万+交通費

市川）エリアからの有志の手伝いは必要か？

→現状では、有志を募ってやる程の仕事はないので大丈夫

エリア代表の決定事項

小泉）・カンファレンスの申し込みを各エリアでまとめる

・各エリアで（交通・宿泊）パックを作る

岡村議長）

- ・沖縄 PGC の中で、もう少し煮詰めてもらってほしい
- ・委員会を取り込んで、魅力のあるカンファレンスにしてほしい
- ・講師も、委員間委のほうでインパクトがある人を呼んでもらってもいい
- ・どうして名護でカンファレンスを行うのか、もっと説明が必要

講評 小貫前議長)

(今年の) 10月の全代会にての交代式、ありがとうございました。

いよいよ、このメンバーで全代会が始まりました。とにかく、時間を守っていきましょう。

何のため、誰のための活動なのか考えてもらいたい。

そして、自分も楽しい、みんなも楽しい、お客さまも楽しいという流れができるようなセミナー、委員会の活動になる2年間になってほしいです。

岡村議長) ありがとうございます。

以上にて、第95回全国代表者会議、1日目を終わります。

2011年度 第95回PGC全国代表者会議 2日目 議事録

日時 平成24年2月14日(火) 9:00~12:00

場所 浅間神社会館 ラフィナーネ・浅間

岡村議長挨拶)

おはようございます。今日は、カンファレンスと委員会の詰め、
エリア代表と委員会の詰めをしていきたいです。

1、フリーセッション

1) 沖縄カンファレンスの進行状況(沖縄カンファレンス実行委員長神谷広)

・スケジュールの変更

4月1日パンフレット原稿〆切

4月2~10日までパンフレット(案)作成

4月10~15日校正

4月20日パンフレット印刷

※5月9日までにパンフレット作成する

・セミナー予算

カンファレンスの予算から、各委員会に25万

・委員会から

上山、真安)委員長だけではこれ以上決められないので、

Facebook、スカイプなどで会議を行う

・宿泊施設

沖縄実行委員より、各エリアにアナウンスする

・交通手段

交通手段がない人のためにバスの用意も検討するので、各エリアからそのよ
うな人の人数を連絡してもらいたい

・Facebook を使った沖縄カンファレンスの情報公開、会議について

一般メンバーも入れるグループ(オープンな場)と、重要事項を話し合うグ
ループ(一般メンバー参加不可)をつくる

- ・各エリアからの予定参加人数
 - 北海道) 15~20人※前は10人
 - 東北) 15~20人※OB5人参加確定
 - 関東) 30人
 - 東海) 最低20人
 - 関西) なるべく多くってほしいので50人(家族、スタッフ含む)!!
 - みんな拍手!!
 - 会員は30人
 - 中国) 15人
 - 九州) 最低20人
 - 沖縄) 全員参加で17人

→計162人

200人を目標に、150人を目安にして進めて行く

- ・卒業式について
 - 懇親会のとくに各エリアで行う(10~15分)
 - 懇親会に参加する卒業生を、沖縄実行委員に連絡する
 - 花束などを用意する
- ・会場費について
 - 15~20万(光熱費込み)なので残りのお金をエア代に使ってもらいたい
- ・カンファレンス終了後にオプションツアーをつけるか?
 - 神谷) 沖縄で用意するより、エア代も含めて旅行会社にオプションを付けてもらった方が安い。もちろん沖縄で用意する事も可能

2) フリーセッションによる沖縄カンファレンスの変更点

- ・沖縄カンファレンスの時間割の変更
 - 7月9日(月) 設営(会場に、月曜日に設営できるかどうか確認する)
 - 7月10日(火) ビーチパーティー
 - 7月11日(水) 丸1日かけて本大会を終える
 - 懇親会
 - 7月12日(木) オプションツアー、沖縄満喫、各自帰宅
- ※カンファレンスの内容を1日で終わるように検討する
 - 12日も開催すると、後泊しないと帰れない人がでてくるため

(参考)

7月11日(水) 午後3時カンファレンススタート

7月12日(木) 丸一日カンファレンス。夜に終了

7月13日(金) 各自帰宅

という案もでたが、13日(金)に天候不良により帰宅できないと

14日(土)にかぶってしまう恐れがあったため、却下

- ・ 7月11日の昼食について
沖縄実行委員で検討する

3) 5月の全国代表者会議について

- ・ 次回の全国代表者会議が5月では遅くないか？(吉田和正)

参考1) 沖縄カンファレンスは、いつものカンファレンスより2ヶ月前倒し

参考2) 中国カンファレンスのときは、パンフレットの1回目の校正の段階で全代会に持ち込み、詰めることができた

→沖縄カンファレンスの完成形(パンフレットも含め)、全代会はシュミレーション、最終確認の場とし、全代会の日程は5月9、10日で決定

- ・ 交通費について(原運営専務)

交通費が支給されるが、早割が適用されるよう早めに航空券を手配してもらう

※ 3月11日までに自分(原)にいつてもらえば、こちらで航空券用意する
那覇、名護間の移動に関してはバスをチャーターして、みんなで移動する

- ・ 日程、スケジュール(仮決定)

5月10日17時より名護にて全代会(会場は22時まで使用可能)

11日全代会2日目

※ 終了時間は、参加メンバーの帰りの時間を確認後、決める

2、委員会活動、エリア活動の今後の予定

(しあわせ委員会委員長 林陽平)

今年度は、CDのネタ作り

外向きセミナーは来年

エリア代表に、来年セミナーに呼んでいただくようお願いした

〈創造委員会委員長 河田〉

ビフォーアフターの店に取材しに行き、それぞれの大会に必要な店舗の取材結果を
発表

1回の発表で3店舗ぐらいの発表予定

5月に北海道で行う

今年は多くデータを集めて、来年セミナーをしたい

〈ココロヲキタエル委員会委員長 坂本〉

今年に関しては、エリアに出てセミナーではなく、縁のしたの力持ちで。

カレッジの運営委員、絆展の運営委員で声がかかれば、手伝う

〈テクニカル委員会委員長 上山〉

・バトルロワイヤルの日程（仮）

北海道来年2月

東北来年2月

関東今年5月

東海来年2月

関西、中国未定

沖縄12月の忘年会時

・セミナー講師派遣

バトルロワイヤルと同時期

東海は今年の夏を予定

・合宿（来年夏）

一般会員対象の撮影合宿。スチル、ムービー、ロケなどのスキルの向上

〈COOL STUDIO PROJECT 委員長 真安〉

今年は Facebook を使ったの集客

エリアの研究大会以外のところ（忘年会、エリアの勉強会）で絡んでいきたい

〈どっこいしょ室 内山〉

次世代の写真館スタッフの発掘

写真関係の仕事に就こうと思っている学生に、こちらからアピールする場をもつ

写真館のスタッフに的をしぼった、写真館の良いところ、悪いところを見せるドキュメンタリームービーなどを作りたい

1年間製作だけだと空白ができるから、スタッフのインタビュー、オーナーとスタッフの関係など、写真館の内側を見せるものも出して行きたい。

〈補足 吉田和正〉

写真館をやりたい人を増やす、写真館の魅力を表現する
その延長線上に、究極の写真館とは何か？
その中で一つ一つ（動画や写真など）を見直していき、発表する
いろんなエリアの人からの助けをもってやっていければと思う

〈基金管理委員会 原運営専務〉

昨日（2月13日）、第一回目の委員会をしました
通帳管理を自分（原）がする
有事の際は、スカイプ会議を行う
現状150万あり、毎年増やしていきたい

2、その他（上山）

・NHKの番組案内

自店にNHKの番組が取材に来ました

番組 『あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑』

放送日時 3月1日夜7時25分～7時50分

テーマ 番組は、いろいろな職業の魅力などを発信する番組

今回は、写真館のスタッフに的をしばっている

ぜひ、感想も聞かせて下さい

登里さん（ちどり写真館）のところに、昼パパ企画の件でNHKさんがきて、

その繋がりから（自店に）取材がきました

岡村議長）

お疲れ様でした。2日間の会議がこれで終了ですが、良い会議だったと思います。

吉田（和正）さんの話だが、自分たちのことだけでなく、これからの写真館のことを考えていたかないといけない。10年20年先に繋げて行くために、今何をすればいいか意識して行動していきたい。そして、写真館の魅力を普段から発信していく。

ともう。

PGCだからこそ、このようないい話が出て来ると思います。これを力に、みんなで頑張っていきたいと思います。

講評 林義明)

お疲れさまでした。2年間の中で、この時期がいろいろなことを企画したりするので、この2日間は濃かったと思います。

全国に繋げて行こうという、エリア代表と全国委員会で良いコンビネーションがとれていたと思います。全国大会でもフェイスブックを使ってコミュニケーションを取れば良いと思います。

コミュニケーションをいっぱいにとって、熱が空回りしないようにやっていければと思います。

以上で、第95回 PGC 全国代表者会議を終わります。